

団体名	コラコラ (coral collabo)
所在地	沖縄県石垣市
団体の目的	当事者参加型のローカル認証である「コラコラ認証」の普及と継続的な学びを通じ、環境に配慮したモノ・コトの増加とそれを生み出す事業活動の拡大を図り、サンゴ礁につながる島の自然の回復と生活スタイルの転換、それによる自然と人との調和を目指すことを目的としています。
活動地域	沖縄県石垣市および八重山郡竹富町
地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿	ゴミはゴミにならずに資源として循環し、人的な資源も循環することで、島全体がつながりあう「巡る島」。地域循環共生圏の構築により「人々の充足感」と「自然環境の再生」が両立する社会こそが、私たちの目指す地域の姿です。
地域の現状・課題	経済が典型的なリニア型(直線型)の地方経済で、多くの収入が入ってきているとしても支出も多いため経済的な余裕がありません。また、物や資源は島内で消費されたあと、ゴミとなり、処理費用がかさむほか、ゴミ処理によって生じる環境負荷の大きさも課題です。
地域が持つ資源	豊かな自然環境、繁殖力旺盛な草木、独特の文化芸能、未使用の施設、自然が好きな人々など。
取組内容	サンゴ礁をはじめとする自然環境全般を保全・再生させるため、業種ごとにガイドラインをつくり、八重山地域限定のローカル認証制度の普及に取り組んでいます。
地域循環共生圏を実践することで想定される効果(変化)	<p>(環境)環境意識の高い仲間がまず繋がることで、発信力が高まり、市民一人一人が環境保全を身近に意識できるようになる。一人一人の行動が変化する事で環境への負荷は飛躍的に軽減されていく。</p> <p>(経済)経済をリニア型からサーキュラー型への移行を進めるに伴い、お金が循環するのはもちろん物や資源の移動もサーキュラー型になる。これにより不用品はゴミにならずに資源となり島の中を循環する事になる。</p> <p>(社会)自然環境の保全に対する意識が高まり、自然環境という土台の上に社会活動や経済活動が成り立っていると実感できるようになる。自然環境が自分の命と繋がっていると実感出来る事が充足感となり、より貢献し合える社会の循環が生まれる。</p>

